

港ニ碇碇中ナルカ余坦如又十六名中ノ大坂代
代極上ノ常務大出野中館十一名ハ航海中ニ行
ケル長久長伊藤実一助部下ニ不就
トシ帰馬後正シ在ニ五ノ一ニ一等運轉ニ爲
三郎ニ運トテ余北ニ拜シ又七海勅旨味ノ書
アヲ糧ニシテ今北ニヨリ何等ノ回答ニ接
ルニナラズ却テ交託ト堀外十一名(除上系大上
拜シ客存ニテ突然社余下取カ余ノハ
ノ秩序ヲ紊ニスノト認メタムカ)ナリテ船員ノ
愕ニシテ翌日テ西本橋負運合ヲ訪問シテ内
情ニテ述ビテ之ノ援助方ヲ相メタムカハ
ハシテ云々出雅雄ヲ卸社余北ニ以テ遣
テ潤セシメタムカハ船員ノ行動中ニ天裁
公遺憾莫

アリトシ会社ノ命令ニ服従セシムルコトニ決シテ件
ハ何等事世々解決シ人カ量囊ノ大争議 於テ
解決シタムカハ屬員年茂年成近期ニ乘ルハ月
テ多クスルニ於テ会社例ノ後ノ社員表
何ニ依リテハ函ニ出樓ヲ惹起スヤニ難
音中ナリ

因ニ社余下艇待命ノ業ニ恥悔年茂ヲ減シ
ルニ過キスニテ因下悔矣ハ欠負多數アハ概ニ
此亦ニ復強ノ具込アリト謂フ

右友申 運 船 員 也